

施設名 : 第一学童保育所以下19か所
 指定管理者名 : 社会福祉法人 青梅市社会福祉協議会
 担当課 : 子育て推進課

評価項目	評価内容	指定管理者 評価	確認資料等	市評価	判断のポイント
業務履行	業務体制	△	事業報告書 現地確認	△	保育指導については、決められた人員配置が行われている。
	事業報告	○	事業報告書 延長利用 調査回答	△	指示した報告は提出されている。
	業務記録	○	事業報告書 現地確認	○	業務記録は作成されており、整理、保管されている。
	個人情報	○	事業報告書 現地確認	△	個人情報の漏えいはなく、一定の管理が実施されている。
	自己評価	◎	事業報告書 ヒアリング	○	利用者満足度アンケートを実施するなど、利用者の意見等を傾聴し改善に取り組んでいる。
維持管理	清掃	◎	現地確認	○	学校施設内の学童保育所においては学校とのトラブルはなく、独立施設保育所においても衛生環境が保たれている。
	修繕	○	事業報告書 現地確認	○	未修繕による事故や怪我などはなく、一定の修繕が実施されている。
	安全性	○	現地確認 ヒアリング	○	利用者である児童に対し注意喚起を行い、安全の確保を図っている。
	警備	○	現地確認 ヒアリング	○	機械警備を実施するとともに、学校と情報交換を行い、情報収集にも努めている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	○	マニュアル 現地確認	○
災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。		◎	ヒアリング	◎	学校と連携した対応に努めるとともに、独自にマニュアル確認作業などを行っている。
会計	処理	◎	事業報告書	◎	学童保育事業を含めた社会福祉法人として監査を実施している。
	管理	◎	事業報告書 現地確認	◎	月ごとに収支が報告されており、現金は金庫で適切に管理されている。

【評価欄の評点】◎:協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。 ○:協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。

△:協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。 ×:協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
◎	5
○	7
△	1
×	0

記入欄

- ・人員配置については、折からの人材不足もあり不満足な部分があった。
- ・お誕生日会やお楽しみ会等積極的に行事を行った。また、季節感を取り入れた制作物の作成等、子ども達が楽しめるよう学童保育所運営に取り組んだ。
- ・青梅市高齢介護課より95歳お祝いカード事業のカード作成依頼を受け、子ども達がお祝いカードを作成した。感謝のお手紙を頂くなどご好評をいただいている。
- ・29年度利用者満足度アンケートによる満足度は、大変満足・満足合わせ97.4パーセントであった。また、不満・大変不満は合わせて0.3パーセントであった。前年のアンケート内容をふまえ、改善に向けて対応に努めた。また、保護者様からのご意見等に積極的に対応し、信頼関係づくりに努めた。
- ・指導員が学童単位のグループに分かれ月1回会議を開催、また情報共有及び共通認識の元課題改善にむけ正副長の会議も開催した。グループ便りも隔月作成し保護者へ配布した。
- ・小破修繕については、迅速に適宜対応している。
- ・清掃については毎日指導員により行っている。
- ・「学童保育所危機管理マニュアル」の読み合わせを偶数月行い、共通認識をもって対応に努めている。
- ・避難訓練を実施。また、学校主催の引き渡し訓練等にも積極的に参加している。
- ・必要時には学校の先生と情報交換を行っている。
- ・金庫の設置により、会計に関する書類等の管理は適切に行っている。

2 市評価における評価理由、意見等

評点	数
◎	3
○	7
△	3
×	0

記入欄

学童保育所の運営については、放課後児童支援員研修の参加を促進することで、年々資格を持つ職員が増えているものの、その職員が休暇を取得した際の補充が上手くいかなかった施設が見られた。また、提出を求めた書類の遅延が一部認められるなど、不安定な業務履行が見られた。

一方、障害を有する児童が年々増加している中で加配職員の配置や、年度末に第3小学校において静養室の確保が図れた結果、当該施設において障害児受け入れ定員の撤廃を図ることができたが、それに伴う臨時職員の配置にも柔軟に対応していただいた。